

いしかれん だより

第61号
2019. 2石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076)238-5761 FAX (076)238-5762
MAIL ishikaren@outlook.jp

県内7団体 石川県等に要望書提出

精神障害のある人・障害のある人が
地域の一員として
共に暮らし 共に働く 模範を

障害者の雇用に関する要望書

平素より、石川県の医療福祉施策の発展充実にご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、障害者がごくあたりまえに地域で暮らし、ともに働くことができる「共生社会」実現の理念の下、障害者雇用促進法においては、すべての事業主に法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります。また、この制度の対象となる障害者の範囲は障害者手帳等によって確認することとされています。

しかしながら、平成30年8月23日の新聞報道で、石川県、石川県教育委員会、石川県警察においては、身体障害者手帳を持たない職員を障害者として雇用数に参入していることが発表されました。また、平成30年4月1日から雇用義務の対象として、これまでの身体障害者と知的障害者に加え新たに精神障害者も対象になりましたが、石川県職員採用候補者の障害者枠は身体障害者のみを対象としており、共生社会の理念を鑑みても、障害者雇用のあり方について見直す必要があると考えます。

つきましては、下記の通り要望いたしますので、ご配意のほどよろしくお願いいたします。

記

1. 法定雇用率に相当する人数以上の障害者を雇用してください。

厚生労働省のガイドラインに基づき、手帳を持たない職員を雇用数から除外すると、3組織とも障害者雇用率は法定率を大きく下回ります。早急にガイドラインに基づいた適切な取扱いのもと、法定雇用率に相当する人数以上の障害者を雇用してください。

2. 職員採用候補者の障害者枠を精神障害者や知的障害者にも拡大してください。

厚生労働省石川県労働局発表の平成29年度障害者の職業紹介状況等によると、ハローワークにおける障害者の新規求職申込者数2,148件のうち58.5%にあたる1,257件が精神障害者の求職申込であり、10年前に比べ3.5倍に増加しています。

また、同じく石川県労働局発表の平成29年度障害者雇用状況の集計結果によると、県内の地方公共団体で雇用されている障害者の障害種別ごとの割合は、身体障害者が全体の94.6%であり、精神障害者が4.8%、知的障害者に至っては約0.5%です。障害者雇用の法定率は2020年度末までに、さらに0.1%引き上げられることが決まっており、今後、身体障害者のみならず、精神障害者や知的障害者にも採用枠を広げることが不可欠です。国が掲げる「共生社会」の理念の下、障害者が働く権利を行使できるよう取り組むことは重要な課題であり、早急な拡大を求めます。

3. 障害者雇用のあり方について調査・検討する場を設置してください。

石川県庁においては、障害者雇用促進法の適切な運用へ向け、徹底した原因究明と障害者雇用に対する意識改革を行うため、障害者雇用のあり方について調査及び検討する場を設置してください。また、調査や検討の場には、障害当事者、障害者就労・雇用支援者、障害者雇用実績を有する民間優良企業の担当者なども加え、多角的な検証のうえ再発防止策を立ててください。

以上 (本文のみ掲載)

第1分科会 本人・家族が地域に融けこんだ生活を！—退院して在宅で—

娘と一緒に暮らす毎日 ～父親の経験・父親の語り～

石家連 理事 谷田一成

6月の梅雨空の夕方である。「ただいまー！！」という元気な声が玄関で聞こえました。53歳の娘の帰宅です。障がい福祉サービス事業所「鳴和の里」へ通所している長女です。

長期の入院生活を終えて、平成19年6月から「鳴和の里」でお世話になっていきます。その間に、給食センターの食器洗浄の仕事を3年間、白山の事業所で3年間そして現在に至っております。天気の良い日は、自転車で事業所へ、雨の日はバスでと最近は自分で行動できるようになって来ております。本人の特技は料理かなあ？台所で作ることが大好きです。出かけることも好きです。

先月5月31日に、「鳴和の里」の日帰りバス旅行で飛騨高山へ行ってまいりました。親の私も参加しました。途中雨に降られましたが、高山の町並み散策では幸い天気が晴れて、気持ちの良い旅をさせていただきました。お世話になった職員の方々には、有難うございました。

最後に、高齢化を迎えて親子元気で今の生活を維持していきたいと思っております。

(みんなねっと北信越ブロック家族会福井大会)

福井大会 第3分科会

平成30年10月26日

『精神科医療への期待！』

石家連 常務理事 橋本佳久

精神病（統合失調症）

非常に難しい課題を話すことに恐縮している。

この病気となる原因がわかっていない現在、医学的、科学的に医療機器（MRI や CT）を使って原因を究明している他の病気、癌細胞の切除、脳腫瘍の除去などの病原体を取り除き病状を治癒方向へと治療法が確立されている医療が羨望です。一時も早くこの病気、精神の病原を解明してほしいものです。

精神病は江戸時代には獣が乗り移った、神の祟りなどと恐れられ、多くは座敷牢あるいは監置室に隔離され人目に触れないように隠していたのです。この状態は長年にわたり続き漸く終止されたのは1950年（昭和25年）の精神衛生法の制定からです。その後は、監禁や束縛など発覚した時は罪に問われることになりました。

飲む薬は「一品料理」

精神病の治療は薬物治療が主体となっており、加えてカウンセリングで、当事者の状態を聞き、その上で入院治療や投薬治療が成立する。退院後の診察日はそれぞれの回復状態によって決まってくると思うが、診察時の当日、担当医は自宅療養中の生活状況を聞き、薬は決められたとおり飲んでいないか？夜の睡眠時間は充分にとっているか？日中の活動状況などを聞いたうえで、前回同様の薬を処方します。この面接時間は僅か2分か3分で、患者にしてみれば一方的な問いかけに返答するだけであり、自分の話したい事、要望を話す機会が皆無です。2、3人に聞いたところ最低でも5分くらい時間をかけて自分の話も聞いてほしいと言っていました。

担当医師に期待するのは当事者の状態を知り、その人に合った良薬を早く見つけてほしいものです。この病気の薬は他人のを借りて飲むことができません。その人に合った薬、定食でなく「一品料理」だと思っている。

「三位一体」

病気の現状から抜け出すのは、現在の治療では薬物療法が主体で薬を飲まずにのんだふり、飲んだつもりでベッドの下や、袋に詰めて溜めていたりして飲まない人がいます。GHや本人の管理に任せて飲んだことの確認を怠ったGHの世話人や家族の人に問題があります。薬は必ず飲まないと症状が良くならない事を言って聞かせ、飲む人、飲んだことを確認する人、そして担当医の三者三様の役割で決められた通り服用すれば必ず良い結果が得られます。知人で現在、A型事業所に通所している当事者Mさんにどうしてそんなに生き生き元気になった？と聞いたところ、担当医師の言う通りしっかりと薬を飲みこんだことを親に確認してもらっているとのことでした。

精神科医療に期待することは非常に大切で期待大であるが、今もってなお原因の分かっていないのであれば現状のまま薬物治療のお世話になって決められたことを守ることが大切だと思う。いずれにしても、この病気は余程の特効薬がでてこないかぎり薬と長い付き合いをしなければなりません。

① みんなねっと兵庫大会アピール

2018年11月27日

「精神疾患の本人と家族の明日を切り拓くために」

障害者権利条約が批准され、障害者差別解消法が制定されている中でも、精神障がい者私宅監置事件等問題が発生しています。その原因は未だに脱却できていない精神障がい者に対する「偏見や差別」により本人や家族が行政・支援者・地域社会から孤立している現実にあります。本大会で学んだ「心の健康教室」を早速義務教育から実現して行きましょう。また地域社会や職場においても「心の健康教育」が重要だと考えられます。

また、精神保健福祉を欧米並みに向上させる必要が有ります。入院治療、薬物療法偏重の是正および対話療法やアウトリーチの効果等を学びました。またピアサポート及び就労支援の新しい方向性等を話し合いました。

以上より地域社会の理解を深め、人権と尊厳を守る共生社会を実現するために、本大会に集まった私たちは我々の行動指針としてのみならず、支援者や関係機関に対して次のことを呼びかけます。

- (1) 精神疾患を正しく理解する教育を、早急に実現しましょう。
- (2) 本人、家族のもとに届けられる訪問型の支援・治療サービスを実現しましょう。
- (3) 当事者や家族が孤立しないように行政・支援者・地域社会が連帯して支援できるシステムに進展させましょう。
- (4) 今回、精神障がい者へ航空運賃の割引が実施されます。引き続き、鉄道、道路など交通事業者と協議を積み重ね、運賃割引に成功した西鉄(九州ブロック)に続きましょう。
- (5) 中央省庁等における障害者雇用の水増しは許されない。障害者雇用の充実を中央省庁から率先して進めるよう国に求めよう。

「全国精神保健福祉家族大会」の次回開催は愛知県です。愛知県精神障害者家族会連合会へバトンを引き継ぎます。全国の家族会の力を、さらに集結していきましょう。

《《 愛知大会：2019年11月7日(木)～8日(金) 於 愛知県刈谷市 》》

石家連

—— 一人で悩まず、お電話ください。秘密厳守。

家族会による相談 〆 076-238-5761

♥電話による相談（“家族会による相談希望”とお伝えください。）

[日時] 祝日を除く 毎週月曜日 11:00-14:00

♥直接お会いしての相談

[日時] 祝日を除く 毎週月曜日 11:00-14:00

[場所] 石川県こころの健康センター内（金沢市鞍月東2-6）

赤い羽根
共同募金
助成事業

② みんなねっと兵庫大会アピール

2018年11月26日

「精神障害者への交通運賃割引実現に向けたアピール」

2014年6月の「“みんなねっと” 定期総会」で、身体障害者・知的障害者と同等の交通運賃割引の実現に向けて、全国の家族が力を合わせて取り組むことを決めてから4年が経過しました。

2014年末から全国の精神障害者と家族にアンケート調査を実施。約5千人の回答が集約され「所得が低く、家族に負担をかけないために、外出を控えている」という深刻な実態が明らかになりました。調査結果を踏まえて“みんなねっと”は、全国運動として国会請願署名に取り組み、2016年5月、全国から集結した仲間が「約62万筆」の署名用紙を衆参国會議員に提出し、併せて、関係大臣や各党への要請を行ってきました。また、各地方においては、地方議会に「交通運賃割引の意見書採択」や交通事業者への要望活動などに取り組んできました。こうした、中央・地方での4年間の取り組みを通して、バスや地下鉄など徐々にではありますが精神への適用が前進してきています。

特に、JRや大手私鉄が「精神に拡大すれば減収になる」と適用に向き合おうとしない中で、西鉄は福岡県連と協同してアンケート調査を実施し、「鉄道やバスの利用を控えている」という調査結果に目を向け、2017年4月から精神障害者の運賃割引を適用実施しました。実施内容についても「100km制限」や「第一種の障害者で介護者と共に乗車」という条件は設けず、全手帳所持者を対象とする内容でした。また、今年9月21日には、JAL、ANA等の航空事業者が精神障害者への適用を発表しました。“みんなねっと”は航空事業者や厚生労働省に実施の背景などを問合せ、厚労省から「障害者団体や“ユニバーサルデザイン 2020 行動計画”など社会的要請に基づいて厚労省からも働きかけ、具体的には国交省と航空事業者が話し合い実施要請をしてきた」という説明を受けました。実施内容も「障害の種別や等級にかかわらず写真付きの障害者手帳所持者とその介護者を割引の対象とする」という内容でした。

この4年間の取り組みを通して、都道府県によって「取り組みに温度差がある」ことや家族からは「交通運賃よりも医療費助成の方が切実だ」という意見も課題として明らかになりました。交通運賃は、精神障害者に対する不当な格差のシンボリックなものであり、交通運賃と平行して医療費の助成、精神医療の改革などを進めなければなりません。西鉄と航空各社の事例は、今後の私たちの取り組むべき道を示しています。その1つは、実施内容です。「距離制限」「手帳や障害種別による利用制限」をなくし「全手帳所持者を対象」とすること。「日常生活の利便性と社会参加の促進」に役立つ内容にすることです。もう1つは、交通事業者との協議の進め方です。西鉄の事例は、地元の家族会が当事者やてんかん協会と協力して「精神障害者の生活実態を丁寧に訴えたこと」「粘り強く協議を重ねていけば、必ず理解をしていただけること」を教えています。

私たちは、4年間の全国運動の成果と教訓に学び、地方における地元交通事業者への精力的な要請活動、国への請願要請活動など全国運動を更に発展させる決意を再確認致します。

当 事 者 ・ ピ ア サ ポ ー タ ー ○○○○○○○○○○○○ 特 集

✿ 現在の自分について

所属 泉の会 喜多 明広

最近になってわかったことは、人間はからだの運動を続けているということだった。どんな状態であつても自分も色んな人たちも生きていることだった。最近、とてもいい気分で過ごしていること気づきました。一人で生活してみましたけれど上手いかなかった。気づかなかつたけれど、親にとってもフォローして貰っていることがわかりました。縁の世界というか動物などのやさしさを持って接することが大切であると、現在の自分はわかってきました。昔は、よく悪いことばかり考えていた気がします。人が生きるために必要なことは、人として皆に平等に行われることを考えさせられました。

音楽も、ギターを一生の友として付き合っていこうと思っています。最近、未来は明るい自分自身そう思っています。雨の中で傘をさすことはなんだか、かっこ悪いのではと勝手に思っていたましたが、これからは傘をさそうと思います。自然の中で不思議だと思っていることは宇宙の事です。宇宙の事を勉強しても今の自分では歯が立ちません。自転車に乗って走行しているときが今の自分にとって一番の喜びかもしれません。未来はどうなるのか分かりませんが、結局メビウスの輪のようになっているのかなと思っています。

バスケットボールが好きなので妹と一緒にアシックスジャパンモデルを履いて運動しようと思っています。日本人として外国の人達ともっと分かり合えたらいいと思います。これからも多くの人達のご支援の中で生活していくと思いますが宜しくお願いいたします。これからも人と人とのつながりを念頭にもち毎日を懸命に生きていきます。自分だけの事ではないことに気づかされた今日この頃です。今年是新元号の年となりますが、みんなで協力し合って2019年を良い年とし、2020年東京オリンピック・パラリンピックを迎えることが出来ればと思っています。

編集後記

糸川昌成先生（精神科医）の又聞きのお話。お母さん（1937～2000）は統合失調症でした。・・・・

「僕が、思い出しても大丈夫な状態になったから。母を思う胸の痛みは一生消えないけれど痛みの意味を理解できるようになった」。「それを隠そうと必死に努力してきた。でも僕は僕。立派な話をしても、大酒飲むと記憶なくすしね」。「母は精神病院で、たった一人で亡くなりました。母の人生を知っていただくのは母の『供養』になりますから」。「母の病は忌まわしいことではなく尊い人生だったと思えるようになったから。患者さんと接しても違うね」。「30年脳を研究して（心の病は）分子生物学では解決しないとわかった。薬は脳には作用するけれど、魂を癒さない。症状の文脈と意味が理解され、腑（ふ）に落ちる物語を描けたとき、人は回復する」。

(N)